

第 39 回全国選抜フットサル大会東北大会実施要項

- 1 名 称 第 39 回全国選抜フットサル大会東北大会
- 2 主 催 東北フットサル連盟
- 3 主 管 青森県フットサル連盟、一般社団法人青森県サッカー協会
- 4 後 援 一般社団法人東北サッカー協会
- 5 協 賛 株式会社ミカサ
- 6 日 程
 - <開催日> 2023 年 7 月 29 日 (土) ~30 日 (日)
 - <会 場> マエダアリーナ (TEL : 017-737-0601)
〒039-3505 青森県青森市大字宮田字高瀬 22-2

7 参加資格

- (1) 一般財団法人日本フットサル連盟 (以下「日本連盟」という。) に加盟承認された県フットサル連盟の選出チーム (以下「選抜チーム」という。) であること。
- (2) 選抜チームは、前号の県フットサル連盟に加盟するチーム (以下「加盟チーム」という。) 3 チーム以上から選抜された選手により構成されたチームであること。
- (3) 選抜チームの選手は、加盟チームに登録された 2008 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- (4) 選抜チームには最低 3 人以上の 23 歳以下 (2000 年 4 月 2 日以降に生まれた) 選手を含むこと。
- (5) 外国籍選手 (参加県に在住していること) は 1 チームあたり 3 人までとする。
- (6) 他の地域大会において、選手は、他の選抜チームで参加していないこと。
- (7) 日本フットサルリーグに参加しているチームに所属する選手 (F リーグ特別指定選手を含む) の出場は認めない。

8 参加チームとその数

参加チームは、東北各県 (秋田県を除く。) より選出された 5 チームとする。

9 大会形式

5 チームによるリーグ戦を行う。順位は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績

- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ 当該チーム内での総得失点差
- ⑤ 当該チーム内での総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告 1 回 1ポイント
 - (イ) 警告 2 回による退場 1 回 3ポイント
 - (ウ) 退場 1 回 3ポイント
 - (エ) 警告 1 回に続く退場 1 回 4ポイント
- ⑦ 抽選

10 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

11 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ

原則として、40m×20mとする。

(2) ボール

試合球：MIKASA 社製フットサル4号ボール

(3) 競技者の数

競技者の数：5名

交代要員の数：9名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内

(4) チーム役員

5名以内（ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6名以内とする。）

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。選手着用ビブスも同様である。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わ

る場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号の付いたものを着用すること。

(エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号については、1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本協会」という。）の承認を受けている場合のみ認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。

(キ) 参加申込締切日以後、ユニフォームの色、選手番号の変更は認めない。

(ク) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規程に則る。

② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。）

③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを着用しなければならない。

※選手 1 人に 1 枚のビブス（14 枚）が渡るように、チーム側で用意する。

※ビブスは 2 色用意すること。

(6) 試合時間

30 分間（各ピリオド 15 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 8 分間（1st ピリオド終了から 2nd ピリオド開始まで）とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

引き分け

12 懲罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(2) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、全国大会に出場する選手にあっては全国大会で、全国大会に出場しない選手にあっては、当該選手が出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律委員会で決定する。

13 参加申込

- (1) 1チームあたり 26 名（選手 20 名、役員 6 名）を上限とする。
- (2) 参加申込用紙（データ形式）に必要事項を入力の上、所属県フットサル連盟を通じて行うこと。
- (3) 参加チームの所属する県フットサル連盟は、記入内容を確認した上で、データ（エクセル）形式と県フットサル連盟代表者印を押印した PDF データの 2 つをメールにて、開催案内記載の申し込み先に送付すること。
- (4) 申込締切日：2023 年 7 月 7 日（金）正午必着
- (5) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

14 選手証

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面で表示したものを示す。

15 組合せ

東北フットサル連盟において決定する。

16 参加料

1チーム 40,000 円とする。大会当日、大会本部に持参すること。

17 表彰

- (1) 優勝および準優勝チームに賞状を授与する。
- (2) 優勝チームは、2023 年 9 月 15 日（金）～17 日（日）に由利本荘総合防災公園ナイアスアリーナ（秋田県由利本荘市）において開催される全国大会への出場権を得る。

18 代表者会議、マッチコーディネーションミーティング(MCM)

チームの代表者と審判員との代表者会議、MCM は以下のとおりとする。

<代表者会議>

行わない。

<MCM>

当該試合の70分前に大会本部にて実施する。

19 その他

- (1) ピッチレベルの飲料は水のみとし、指定した場所（ベンチの保護シート上）でのみ飲水を認める。ピッチ内での飲水は認めない。
- (2) 参加チームと選手は、日本協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程、懲罰規程等）を遵守しなければならない。詳細については、日本協会のホームページを参照すること。（<http://www.jfa.jp/>）
- (3) 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (4) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (5) 本実施要項に記載のない事項については、東北フットサル連盟理事会において決定する。
- (6) 大会の規律委員会は、主催および主管団体の代表者複数名により構成される。
- (7) 大会に参加する選手は、傷害保険（スポーツ傷害保険）に加入すること。また、必ず保険証又は保険証のコピーを持参すること。大会中のけが等についてはチームの責任で対処すること。東北フットサル連盟（主管協会、連盟含む）は、参加者の負傷、傷害に対しては、一切の責任を負わないものとする。
- (8) 宿泊および弁当については、各チームで対応すること。
- (9) 新型コロナウイルスの感染状況によっては、大会の中止および無観客になる場合がある。
- (10) SNS 投稿（静止画）は認める。